

旧杉並中継所の 跡地活用に関する

意見交換会

Report No.3

旧杉並中継所（井草4-15-18）は、災害時には防災拠点として活用することとしていますが、平時の活用方法については「杉並区区立施設マネジメント計画」に基づき、令和7年度までに決定することとしています。

これまでの検討を踏まえ、区ではアーバンスポーツ（スケートボードやBMX等）などができる施設として改修・活用することを候補の一つとして考えていますが、施設整備を希望する方や不安をお持ちの方などの様々な意見を伺いながら、施設整備の実現性について皆さんと共に考えるため、意見交換会を開催しています。

今回は全3回のうち、令和7年1月19日（日）に開催した、第3回の様子をお伝えします。

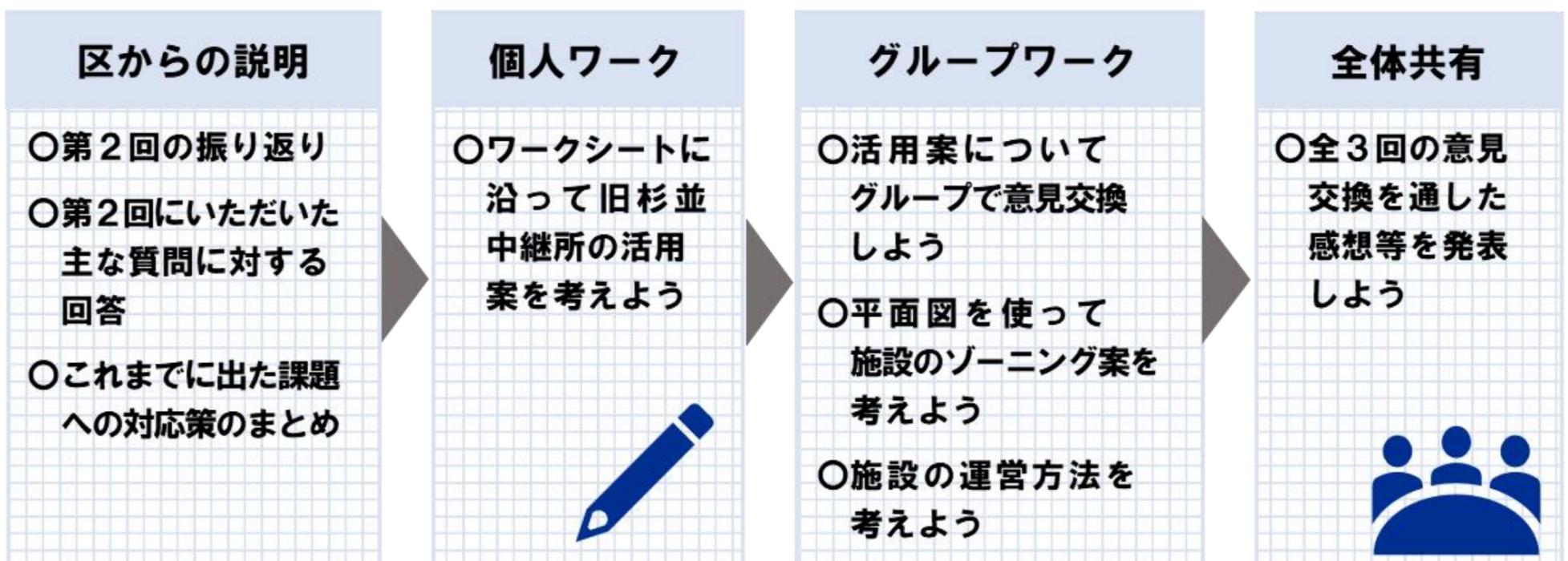
第3回の テーマ

**これまでの意見交換の内容を踏まえて、
具体的な施設の活用案を考えよう！**

前回（第2回）の意見交換会では、施設を整備する場合の課題について解決策を具体的に考えました。

最終回となる第3回では、これまでの意見交換会で議論できていなかった、アーバンスポーツができる施設を整備する場合の施設のコンセプトや、どのような施設が求められているのかについて、以下の流れで意見交換等を行いました。

●第3回の流れ



具体的な施設の活用案を

個人で グループで
考えよう！

第3回の意見交換会では、これまでに議論できていなかった、アーバンスポーツができる施設を整備する場合の施設コンセプトや、どのような施設が求められているのかについて意見交換しました。

前半はワークシートに沿って、施設の主な利用者・取り扱うアーバンスポーツの種目・施設のコンセプト等の活用案を考える個人ワークを行いました。

後半は考えた活用案をブラッシュアップすることを目的にグループワークを行いました。まず、グループ内で一人ずつ活用案を発表し、他の人の意見に触れながら、気づいた視点やアイデアを自分が考えた活用案に取り入れました。

次に、施設の平面図を使いグループでゾーニング（施設内のどこで何をするか）を考えました。施設の活用方法についてより具体的にイメージすることで、施設を運営する場合に必要な対策等についても考えることができました。

個人ワーク

ワークシートの設問と皆さんの主な意見

Q1 施設の主な利用者は？

- アーバンスポーツをする人もそうでない人も利用できる施設が良い
- 多世代が利用できる施設が良い ○区民の利用が中心になると良い

Q2 取り扱うアーバンスポーツの種目は？

- ストリートスポーツ（スケートボード、BMX、インラインスケート）
- それ以外のアーバンスポーツ（ボルダリング、パルクールなど）
- バスケットボール（3on3） ○ダブルダッチ ○騒音の発生しないスポーツ

Q3 アーバンスポーツ以外にあると良いスペースは？

- ラウンジ ○キッズコーナー ○見学スペース ○飲食スペース ○会議室
- 更衣室・シャワー室 ○ダンス・音楽等ができるスタジオ、鏡のあるスペース

Q4 良い施設とするためにどのような工夫が必要？

- 講習会の開催などを通じて、利用者がアーバンスポーツの技能だけでなく社会性を高められる取組を実施する
- 利用者協議会を設立して、利用者と近隣住民が定期的に話し合うことで双方が理解できる環境づくりを行う
- 幅広い世代の方に利用してもらうために、利用料金を低く設定する

Q5 上記を踏まえて大切にしたい施設のコンセプトは？

- 利用者と地域住民でつくる、地域と子ども達を育む区のシンボルのような施設
- アーバンスポーツをはじめとした様々なスポーツに出会い、スポーツを通じて多くの人も出会える施設

グループワーク

ワークシートの内容についての意見交換

他の人の発表を聴き、意見交換をすることで、様々な視点やアイデアを自分の活用案に取り入れブラッシュアップを行いました。意見交換では主に次のような気づきがありました。

区民が利用しやすい価格設定が必要ではないか（区民割引、子どもは無料にする等）

利用者や地域の人が見学できるスペース（カフェ等）を設けた方が、交流がしやすい環境になるのではないか

平面図を使った施設のゾーニング等の検討

1階

- 会議室やキッズスペース
- アーバンスポーツのエリアが見学できるモニターを設置し、子どもの見守り等ができるスペース

地下1階

- ダンス・音楽スタジオなどの音が出せるスペース
- 読書スペース
- 卓球等ができる多目的室

地下2階

- スケートボード、BMX、インラインスケート、パルクール、ボルダリング
- 見学（観覧）スペース

各エリアについて

- 防災機能（占有）となっており、平時活用はできない
- 災害時には防災拠点として活用するが、平時使用が可能（設備等の作りこみは困難）
- 災害時に使用しないスペースで設備等の作りこみが可能

○駐輪場、駐車場

○飲食ができるスペース

○ストライダー・ボルダリング

○初心者向けのストリートスポーツエリア

○壁にバスケットゴールを設置する

○トレーニングスペース

会の
最後に

全3回の意見交換会を振り返って 感想等を共有しました

全3回の意見交換会の最終回である今回は、最後に参加者全員で車座になり、意見交換会に参加した感想等を共有しました。

騒音や利用者のマナーなどの課題にはきちんと対策案を示してほしい。

施設を整備した後の運用が重要だと思うので、この意見交換会で話したことを大切にしてほしい。

反対と思って参加したが、より良いモノを作ろうという姿勢を感じて気持ちが変わり、どういうものを作ると良いか考えられた。

自分の住む地域をより良くするための取組に参加できてよかった。

地域のことにとても詳しい方とディスカッションできるなど貴重な経験ができた。



「危ない」というイメージだけでアーバンスポーツの理解が進んでいない。これを機会にアーバンスポーツへの理解が変われば良いと思う。

意見交換会後の進め方について

意見交換会やアンケートでいただいた意見及び施設に関する調査等の結果を踏まえて、区の検討を支援している事業者（NPO法人 日本スケートパーク協会）が、調査報告書を作成します。

区は報告書の内容等をもとに施設の活用案を作成し、近隣住民をはじめとした区民の皆さんから意見聴取を行う予定です。その後、最終的に区として施設整備の方向性を判断することを想定しています。

調査報告書の作成

活用案の作成

区民からの
意見聴取

施設整備の
方向性の決定

CHECK !

意見交換会当日の配布資料のほか、これまでの検討経過について、区ホームページ（右2次元コード）に掲載していますので、こちらもぜひご覧ください。



■問い合わせ

杉並区 政策経営部 企画課
施設マネジメント担当
〒166-8570
杉並区阿佐谷南1-15-1
☎03-5307-0822

